NETGEAR®

M4200/M4300

ソフトウェアセットアップマニュアル

Software Version 12.0.0

2016.4.18
208-10803-02（英文参照文書）

350 East Plumeria Drive
San Jose, CA 95134
USA

NETGEAR 製品をお選びいただきありがとうございます。

NETGEAR 製品のインストール、設定、または仕様に関するご質問や問題については、下記の NETGEAR カスタマーサポートまでご連絡ください。

無償保証を受けるためには、本製品をご購入後 30 日以内にユーザー登録が必要になります。ユーザー登録方法につきましては、別紙[ユーザー登録のお知らせ]をご確認ください。

NETGEAR カスタマーサポート

電話:フリーコール　0120-921-080

(携帯· PHS など、フリーコールが使用できない場合:03-6670-3465)

受付時間:平日 9:00 - 20:00、土日祝 10:00 - 18:00(年中無休)

テクニカルサポートの最新情報は、NETGEAR のウェブサイトをご参照ください。

http://www.netgear.jp/support/

商標

NETGEAR、NETGEAR ロゴは米国およびその他の国における NETGEAR, Inc.の商標または登録商標です。

その他のブランドおよび製品名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

記載内容は、予告なしに変更されることがあります。

© 2016 NETGEAR, Inc. All rights reserved.

適合性

本製品をお使いになる前に、適合性の情報をお読みください。

各種規格との適合に関する情報は、ネットギアのウェブサイト (http://www.netgear.com/about/regulatory/) をご覧ください(英語)。

内容

はじめに 4
利用可能な出版物 4
スイッチアクセスオプション概要 5
Web 管理インターフェース概要 5
スイッチを起動しパワーオンセルフテスト（Power-ON Self-Test）を観察する 6
コンソールポートを使うためにターミナルを準備する 7
コンピューターでターミナルエミュレーションソフトウェアを準備する 7
コンソールポートを介してスイッチにアクセスする 8
スイッチの IP アドレスを設定あるいは発見する 8
Web 管理インターフェースを使って IP アドレス設定をする 9
コンソールポートと ezconfig ユーティリティを使って IP アドレスを設定する 12
コンソールポートと CLI を使って IP アドレスを設定する 16
DHCP サーバーが割り当てた IP アドレス設定を発見する 18
IP アドレスを知っている時に Web 管理インターフェースにアクセスする 20

はじめに

このマニュアルは M4200/M4300 シリーズマネージスイッチをインストールするときに良く使われるソフトウェア設定タスクについて記します。

このマニュアルを使って、ハードウェアインストールガイドに記述されているようにスイッチをインストールした後にスイッチの初期設定を行います。スイッチに同梱されているインストールガイドはこのソフトウェアセットアップマニュアルの抜粋です。

この章は以下のセクションを含みます。

- 利用可能な出版物
- スイッチアクセスオプション概要
- Web 管理インターフェース概要
- スイッチを起動しパワーオンセルフテスト（Power-ON Self-Test）を観察する
- コンソールポートを使うためにターミナルを準備する
- スイッチの IP アドレスを設定あるいは発見する
- IP アドレスを知っている時に Web 管理インターフェースにアクセスする

メモ： 新しい機能とバグフィックスを含むファームウェアアップデートが時々利用可能になっています。機器によっては普段からサイトをチェックして新しいファームウェアをダウンロードするものもあります。またはご自身で確認をして新しいファームウェアを手動でダウンロードすることもできます。お使いの機器の機能や動作がこのマニュアルに一致しない時は、ファームウェアをアップデートする必要があるかもしれません。

利用可能な出版物

各製品のダウンロードページに以下のような出版物があります。

- インストールガイド
- ハードウェアインストールガイド
- CLI Command Reference Manual
- Software Administration Manual
- Web Management User Manual

スイッチアクセスオプション概要

スイッチを設定するには、すべてのイーサネットポート、OOB(out-of-band)ポート（サービスポートとも呼ばれます）、あるいはコンソールポートを介してスイッチにアクセスできます。

- **イーサネットネットワークポート**：イーサネットネットワーク接続を使って Web 管理インターフェースあるいは SSH または Telnet を介して CLI でアクセスします。スイッチのデフォルト IP アドレスまたは設定した IP アドレスのどちらかを使うことができます。設定した IP アドレスでスイッチにアクセスするには、最初に IP アドレスを設定するか、DHCP サーバーを使っている場合は、DHCP で割り当てられた IP アドレスを見つける必要があります。イーサネットネットワークポートでの IP アドレスは管理アドレスと呼ばれます。
- **OOB ポート**：イーサネット OOB（out-of-band）接続を使って Web 管理インターフェースあるいは SSH または Telnet を介して CLI でアクセスします。設定した IP アドレスでスイッチにアクセスするには、最初に IP アドレスを設定するか、DHCP サーバーを使っている場合は、DHCP で割り当てられた IP アドレスを見つける必要があります。OOB ポートでの IP アドレスはサービスポートアドレスと呼ばれます。
- **コンソールポート**：Windows, Mac, Linux オペレーションシステムのコンピューターとターミナルエミュレーションプログラムあるいは VT100/ANSI ターミナルで CLI を使います。管理アドレスとサービスポートアドレスを設定するには、CLI あるいは ezconfig ツールを使います。

これらのアクセスと設定のオプションについては、スイッチの IP アドレスを設定あるいは発見するを参照してください。

Web 管理インターフェース概要

Web 管理インターフェースを通してスイッチにアクセスするには、Google Chrome, Mozilla Firefox, Microsoft Internet Explorer 等ブラウザの最新バージョンを使ってください。

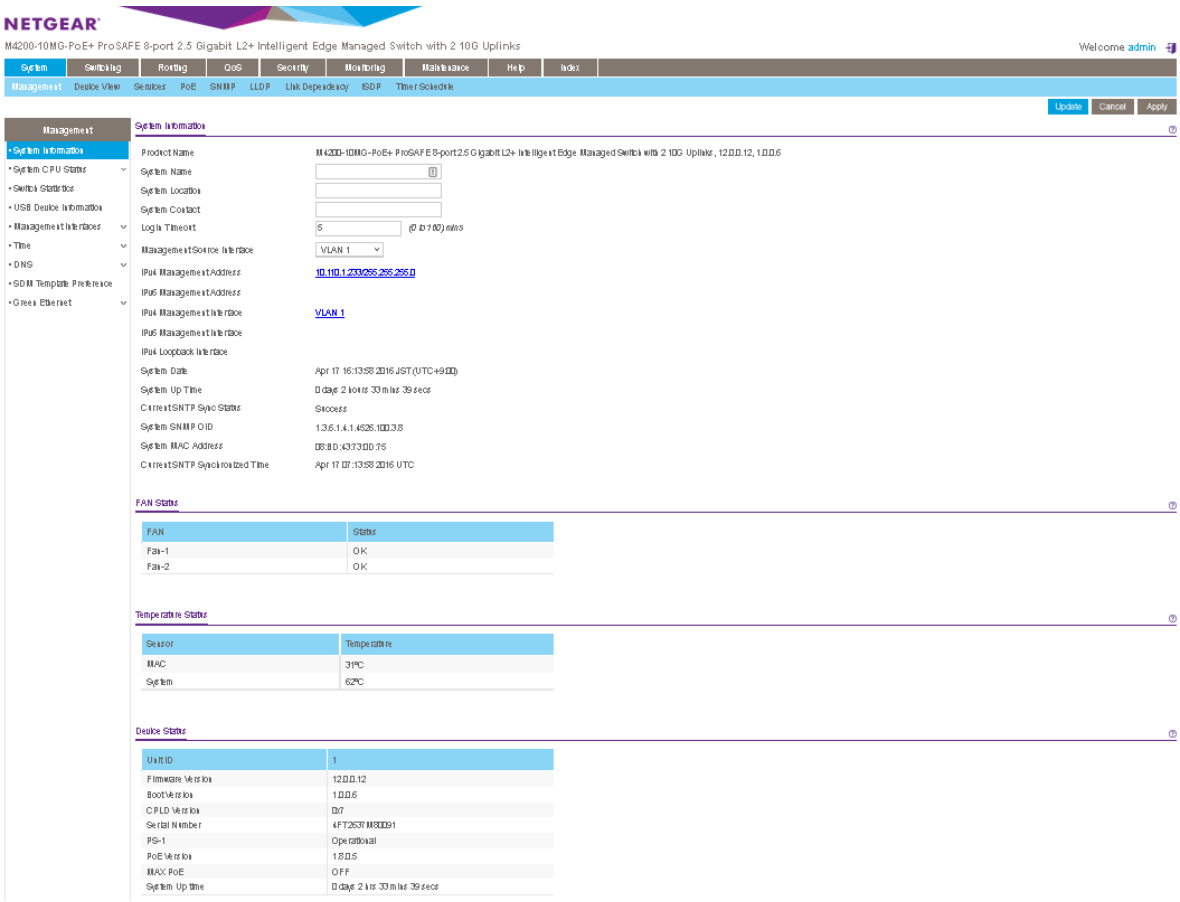
Web 管理インターフェースとターミナルインターフェースは多くの面で異なっています。例えば、Web 管理インターフェースではすべてのフォワーディングデータベースを表示できますが、ターミナルインターフェースでは特定のアドレスから始まる 10 個のアドレスを表示するのみです。

スイッチは 2 つのタイプのユーザーを持っています。管理ユーザーとゲストです。管理ユーザーはスイッチを設定できますが、ゲストはできません。ゲストは設定とネットワークの状態を表示出来るだけです。デフォルトではどちらのユーザーもパスワード無しでログインできます。スイッチを設置する前にパスワードを設定することを強く推奨します。

Web 管理インターフェースでは設定および以下の機能を使うことができます。

- **System**：時間、DNS サーバー、IP アドレス、システムのリソース変更のようなシステム機能やサービスのための設定や状態情報。
- **Switching**：VLAN,リンクアグリゲーション、STP,MAC アドレステーブルのようなレイヤー2サービスに関連する機能。

- **Routing**：VLAN ルーティングや RIP,OSPF,VRRP 等のプロトコルのようなレイヤー3サービス。
- **QoS**：DiffServ や CoS キュー割り当てのような QoS 機能。
- **Security**：802.1x ポート認証、トラフィックコントロール、ACL のようなセキュリティサービス。
- **Monitoring**：イーサネットポート統計、システムログやポートミラーリング。
- **Maintenance**：ファームウェアアップグレード、設定の保存や設定のバックアップ。



スイッチを起動しパワーオンセルフテスト（Power-ON Self-Test）を観察する

スイッチに電源を入れると、スイッチはパワーオンセルフテスト（POST)を実行します。POST スイッチが初期化した時に毎回実行されスイッチを起動する前にスイッチハードウェアをチェックします。POST が深刻な問題を発見した場合は、スタートアップ手順が停止します。ブート手順には約 60 秒かかります。

POST が正常に終了した場合、有効な実行イメージが RAM にロードされます。ローカルターミナをスイッチに接続していると、POST メッセージが表示され、テストの成功か失敗かを表示します。

コンソールポートを使うためにターミナルを準備する

スイッチの初期設定をするためにコンソールポートのうちの 1 つを使うために、Windows, Mac, Linux オペレーションシステムのコンピューターとターミナルエミュレーションプログラムあるいは VT100/ANSI ターミナルをスイッチのコンソールポートに接続します。

以下のスイッチのコンソールポートの 1 つを使う事ができます。

- **Mini-USB コンソールポート**：スイッチには Mini-USB-USB ケーブルが付属しており、これを使ってスイッチのミニ USB ポートと VT100 ターミナルエミュレーターソフトウェアを実行するコンピューターを接続することができます。

  メモ： ミニ USB ポートを使うためには、コンピューターにミニ USB ドライバーをインストールする必要があります。（Windows USB ドライバーはリソース CD に入っています。又は公式ホームページの製品ページのダウンロードからも入手できます。）

- **RJ-45 RS422 コンソールポート**：RJ-45 RS232 シリアルポートは以下の設定を使います。
  - **Baud rate**. 115,200 bps
  - **Data bits**. 8
  - **Parity**. None
  - **Stop bit**. 1
  - **Flow control**. None

  製品に同梱されているコンソールケーブルを使ってコンピューターまたは VT100/ANSI ターミナルの DB9 ポートとスイッチの RJ-45 RS422 コンソールポートを接続します。

コンピューターでターミナルエミュレーションソフトウェアを準備する

VT100/ANSI ターミナルのかわりに Winodws, Mac, Linux オペレーティングシステムを使う場合、ターミナルエミュレーションソフトウェアを設定します。

- Windows では Hyper Terminal や Tera Term を使うことができます。
- Mac では Zterm を使うことができます。
- Linux では TIP を使うことができます。

➢ **ターミナルエミュレーションソフトウェアを設定する**

1. コンソールに接続するシリアルポートを選択します。
2. 以下の設定をします。
   - **Baud rate**. 115,200 bps
   - **Data bits**. 8

- **Parity**. None
- **Stop bit**. 1
- **Flow control**. None

3. プロパティ、モードを選択します。
4. ターミナルキーを選択します。

コンソールポートを介してスイッチにアクセスする

コンソールポートを介してローカルあるいはリモートターミナルを使ってスイッチにアクセスすることができます。

➢ **コンソールポートを介してスイッチにアクセスする**

1. コンピューターで VT100/ANSI ターミナルを設定して COM ポートをオープンします。
   ターミナルインターフェースが起動するとログインユーザープロンプトが表示されます。
2. ユーザー名とパスワードを入力します。
   デフォルトユーザー名は **admin** でパスワードが空白（何も入力しない）です。
   デフォルト設定のスイッチにアクセスできます。

CLI あるいは ezconfig ツールを使ってスイッチの初期設定をする方法については、以下のセクションを参照してください。

- コンソールポートと CLI を使って IP アドレスを設定する
- コンソールポートと ezconfig ユーティリティを使って IP アドレスを設定する

スイッチの IP アドレスを設定あるいは発見する

ネットワークでスイッチを使う前に、スイッチの IP アドレスを設定するか、DHCP で割り当てられた IP アドレスを発見する必要があります。IP アドレス設定は管理インターフェースの IP アドレス、サブネットマスクとゲートウェイと、OOB ポートの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを含みます。

スイッチをアクセスするために使うポートに関しては、スイッチアクセスオプション概要を参照してください。

以下の方法を使ってスイッチの IP アドレスの初期設定あるいは DHCP で割り当てられた IP アドレスを発見します。

- **Web 管理インターフェース**：OOB ポートまたはイーサネットネットワークポートを介してスイッチのデフォルト IP アドレスでスイッチにアクセスして IP アドレス設定を変更します。（Web 管理インターフェースを使って IP アドレス設定をする参照）

  メモ：設定するには CLI のかわりに Web 管理インターフェースを使ってください。Web 設定は複数の CLI コマンドを入力するほうが優しくすぐにできます。

- **Ezconfig**:Mini USB コンソールポートあるいは RJ-45 RS232 コンソールポートを介してスイッチにアクセスし、ezconfig ユーティリティを使って IP アドレス設定を変更します。(コンソールポートと ezconfig ユーティリティを使って IP アドレスを設定する参照)
- **CLI**:Mini USB コンソールポートあるいは RJ-45 RS232 コンソールポートを介してスイッチにアクセスし、CLI で IP アドレス設定を変更します。(コンソールポートと CLI を使って IP アドレスを設定する参照)
- **DHCP サーバー**:OOB ポートあるいはイーサネットネットワークポートに DHCP サーバーを接続し、Mini USB コンソールポートあるいは RJ-45 RS232 コンソールポートを介してスイッチにアクセスし DHCP で割り当てられた IP アドレスを見つけます。(DHCP サーバーが割り当てた IP アドレス設定を発見する参照)

Web 管理インターフェースを使って IP アドレス設定をする

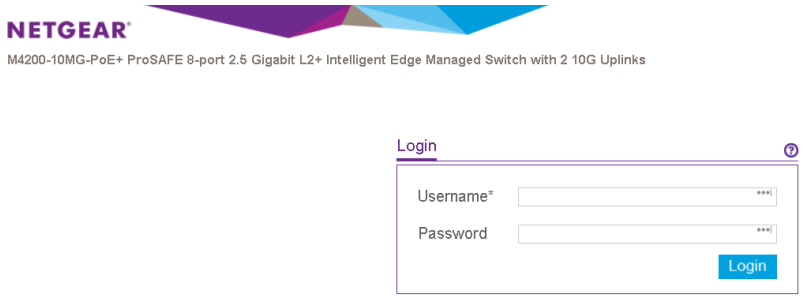
Web 管理インターフェースを介してスイッチの IP アドレスを設定することができます。

Web 管理インターフェースを使ってスイッチを設定する方法については、製品ダウンロードページの M4200 and M4300 Series ProSAFE Managed Switches Web Management User Manual を参照してください。

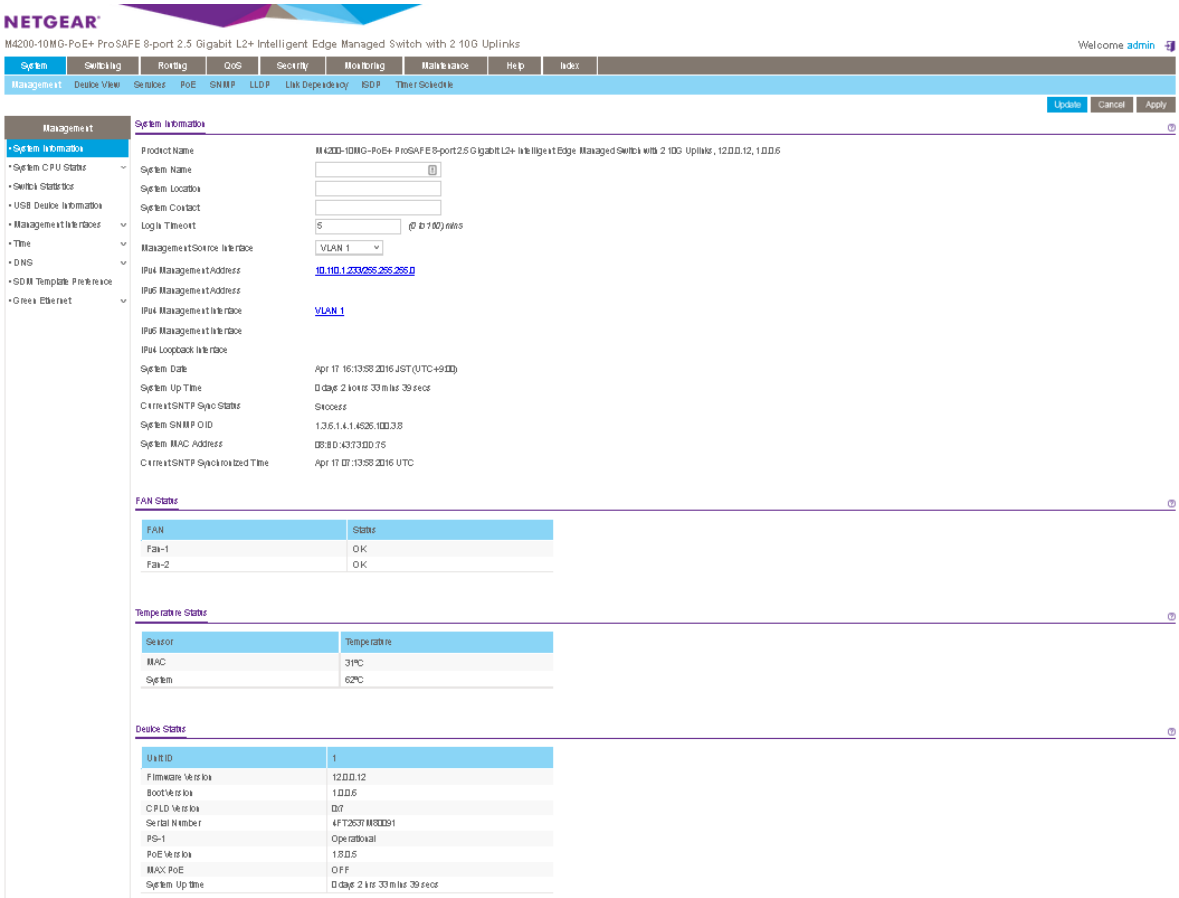
➢ **Web 管理インターフェースを介してスイッチの IP アドレス設定をする**

1. コンピューターに固定 IP アドレスを設定します
   - イーサネットネットワークポートを使ってアクセスするには、169.254.100.0 サブネット内の IP アドレス、サブネットマスクは 255.255.255.0 の IP アドレスを使います。
     例えば、コンピューターで 169.254.100.201 を使います。
   - OOB ポートを使ってアクセスするには、169.254.101.0 サブネット内の IP アドレス、サブネットマスクは 255.255.255.0 の IP アドレスを使います。
     例えば、コンピューターで 169.254.100.201 を使います。
2. コンピューターのイーサネットポートとスイッチのイーサネットネットワークポートあるいはスイッチの OOB ポートを接続します。
3. Web ブラウザを起動します。
4. Web ブラウザのアドレスバーにスイッチのデフォルト IP アドレスを入力します。
   - イーサネットネットワークポートでアクセスするには、**169.254.100.100** を入力します。
   - OOB ポートでアクセスするには、**169.254.101.100** を入力します。

ログインウィンドウが表示されます。

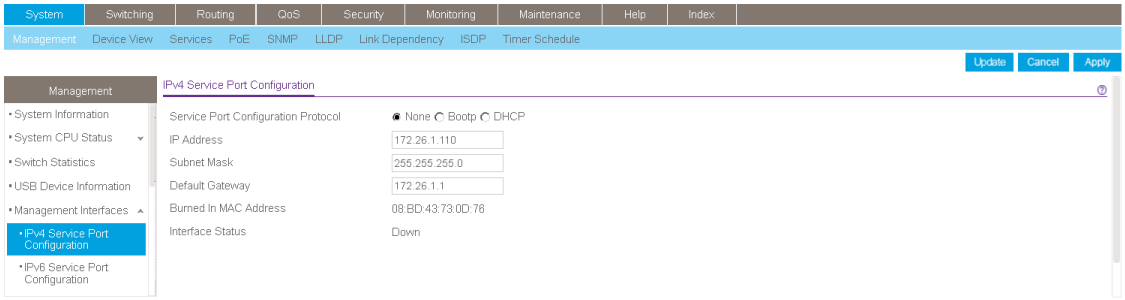


5. Username とパスワードを入力します。
   デフォルト Username は **admin**, password は空白です。
6. **Login** ボタンをクリックします。Web 管理インターフェースメニューが表示されます。



7. サービスポートを設定するには以下を行います。

a. **System > Management > Management Interfaces > IPv4 Service Port Configuration** を選択します。



b. **Service Port Configuration Protocol**:**None** ラジオボタンを選択します。

c. **IP Address**:サービスポートの IP アドレスを指定します。
例えば、172.26.1.110 と設定します。

メモ:OOB ポートもサービスポートと呼ばれます。

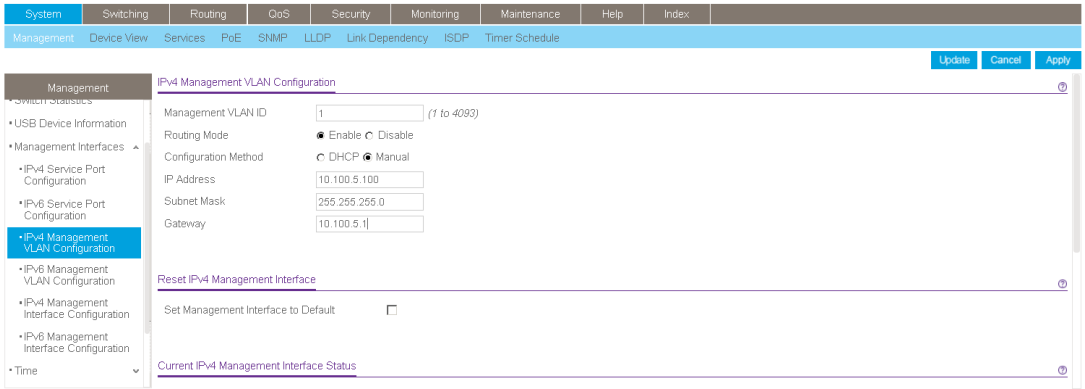
d. **Subnet Mask**:サービスポートのサブネットマスクを設定します。
例えば、255.255.255.0 と設定します。

e. **Default Gateway**:サービスポートのデフォルトゲートウェイの IP アドレスを指定します。
例えば、172.26.1.1 と設定します。

f. **Apply** ボタンをクリックして設定を保存します。

8. 管理 VLAN の IP アドレスを設定するには、以下を行います。

a. **System > Management > Management Interfaces > IPv4 Management VLAN Configuration** を選択します。



b. **Configuration Method**:Manual を選択します。

c. **IP Address**:スイッチの IP アドレスを設定します。
例:10.100.5100

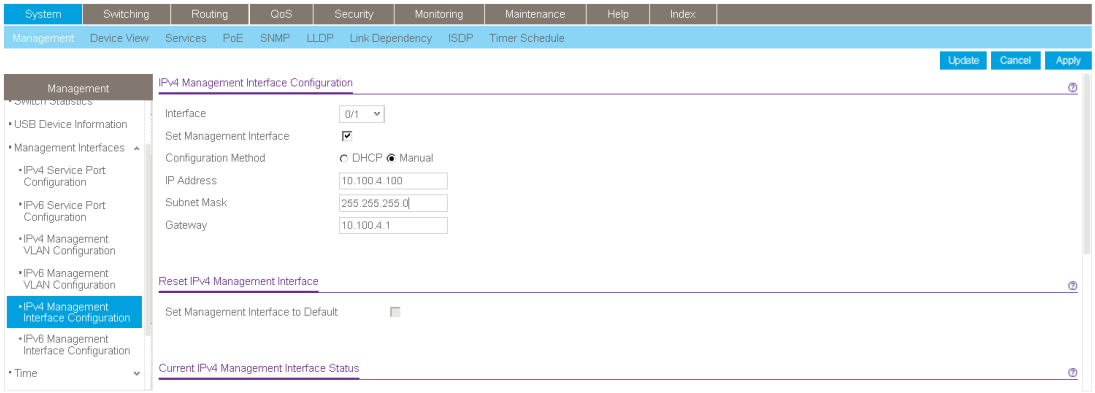
d. **Subnet Mask**:スイッチのサブネットマスクを設定します。
例:255.255.255.0

e. **Gateway**：デフォルトゲートウェイの IP アドレスを指定します。
例：10.100.5.1

f. **Apply** ボタンをクリックして設定を保存します。

9. 管理インターフェースの IP アドレスを設定するには以下を行います。

a. **System > Management > Management Interfaces > IPv4 Management Interface Configuration** を選択します。



b. **Set Management Interface** のチェックボックスを選択します。

c. **Configuration Method**：**Manual** ラジオボタンを選択します。

d. **IP Address**：管理インターフェースの IP アドレスを設定します。
例：10.100.4.100

e. **Subnet Mask**：管理インターフェースのサブネットマスクを設定します。
例：255.255.255.0

f. **Gateway**：管理インターフェースのデフォルトゲートウェイの IP アドレスを指定します。
例：10.100.4.1

g. **Apply** ボタンをクリックして設定を保存します。

10. Web 管理インターフェースをログアウトします。

11. コンピューターの IP アドレス設定をもとに戻します。

Web 管理インターフェースに再度ログインするには、新しく設定した IP アドレスを使ってアクセスします。

コンソールポートと ezconfig ユーティリティを使って IP アドレスを設定する

ezconfig を使ってコンソールポートを介してスイッチの IP アドレスをマニュアル設定することができます。スイッチは mini USB コンソールポートと RJ-45 RS232 コンソールポートを提供します。

Ezconfig ユーティリティは以下の基本スイッチ設定を簡単な手順で設定出来るインタラクティブなユーティリティです。

- スイッチ管理インターフェース IP アドレス

- スイッチ OOB ポート（サービスポート）IP アドレス
- スイッチ管理者ユーザーパスワード（Switch admin user password）
- スイッチ名と場所（Switch name and location）

Global Config モード(#)あるいは Display モード(>)で ezconfig コマンドを入力することができます。

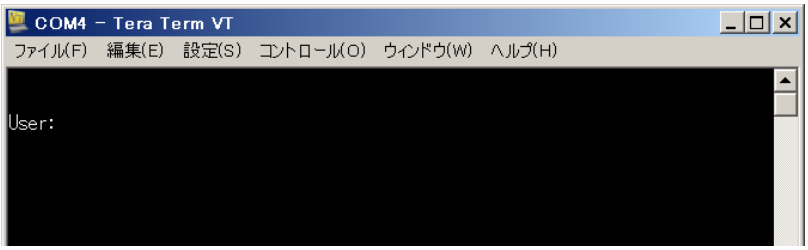
設定の途中いつでも”Q”をタイプすることでプログラムを中断することができます。ezconfig は変更があるか確認して変更を保存するかを確認します。

➢ **コンソールポートで ezconfig ユーティリティを開始してスイッチの IP アドレス設定をする**

1. ターミナルエミュレーションプログラムをインストールしたコンピューターあるいは VT100/ANSI ターミナルを接続して COM ポートを開きます。

   詳細についてはコンソールポートを使うためにターミナルを準備するを参照。

   ユーザーログインプロンプトが表示されます。



2. ユーザー名とパスワードを入力します。
   デフォルトユーザー名は **admin**, パスワードは空白（何も入力しない）です。

```
User:admin
Password:
(M4200-10MG-PoE+) >
```

3. **ezconfig** コマンドを入力します。以下のような表示がされます。
   admin パスワードの変更が促されます。

```
(M4200-10MG-PoE+) >ezconfig

EZ Configuration Utility
--------------------------------
Hello and Welcome!
This utility will walk you thru assigning the IP address for the switch
management CPU. It will allow you to save the changes at the end. After
the session, simply use the newly assigned IP address to access the Web
GUI using any public domain Web browser.

Admin password is not defined.
Do you want to assign the admin password (password length must be in range of 8
- 64 characters) (Y/N/Q)?
```

4. セキュリティの確保のために、Y とタイプしてデフォルトパスワードを変更し、新しいパスワードを入力し、確認のために新しいパスワードを再度入力します。既にパスワードを変更済みで変更しない場合は N をタイプします。

```
Admin password is not defined.
Do you want to assign the admin password (password length must be in range of 8
- 64 characters) (Y/N/Q)?  Y

Enter new password:********
Confirm new password:********

The 'enable' password required for switch configuration via the command
line interface is currently not configured.
Do you want to assign it (password length must be in range of 8 - 64 characters)
 (Y/N/Q)?  Y

Enter new password:********
Confirm new password:********
Current IPv4 Management Interface: vlan 1
Do you want to set new Management VLAN ID (Y/N/Q)?
```

5. 管理 VLAN ID を変更するには Y とタイプし、新しい VLAN ID を入力します。

```
Current IPv4 Management Interface: vlan 1
Do you want to set new Management VLAN ID (Y/N/Q)?Y

VLAN ID: 100
Assigning an IPv4 address to your switch management

Current IPv4 Address Configuration
----------------------------------
Management VLAN ID: vlan 100
IPv4 Address Assignment Mode: None
IPv4 Address: 0.0.0.0
Subnet Mask: 0.0.0.0
Gateway: 0.0.0.0
Routing Mode: Enable

IPv4 address is not assigned. What do you want to do?
C - Configure IPv4 address manually.
D - Assign IPv4 address for the switch using DHCP Mode(current IPv4 address will
 be
lost).
N - Skip this option and go to the next question.
Q - Quit.
? - Help.
(C/D/N/Q/?)?
```

6. スイッチの IP アドレスをマニュアル（C をタイプ）あるいは DHCP（D をタイプ）で設定します。

   スイッチに既に IP アドレスが割り当てられている場合は N をタイプします。

```
Current IPv4 Address Configuration
----------------------------------
Management VLAN ID: vlan 100
IPv4 Address Assignment Mode: None
IPv4 Address: 0.0.0.0
Subnet Mask: 0.0.0.0
Gateway: 0.0.0.0
Routing Mode: Enable

IPv4 address is not assigned. What do you want to do?
C - Configure IPv4 address manually.
D - Assign IPv4 address for the switch using DHCP Mode(current IPv4 address will
 be
lost).
N - Skip this option and go to the next question.
Q - Quit.
? - Help.
(C/D/N/Q/?)?
```

Ezconfig は現在の IP アドレス、サブネットマスクを表示します。デフォルトではネットワークの DHCP サーバーが DHCP によって IP アドレスを自動的に割り当てますが、固定 IP アドレスをここで設定することもできます。固定 IP アドレスが割り当てられると、ezconfig は自動的に DHCP クライアントモードを無効にし、管理 VLAN に固定 IP アドレスを割り当てます。

7. Global Routing を有効にします。

```
Do you want to enable global routing (Y/N)?y
```

8. 管理 VLAN に IPv6アドレスを割り当てます。

```
Current IPv6 Management Interface: (not configured)
Do you want to set new IPv6 Management VLAN ID (Y/N/Q)?Y

VLAN ID: 100
Assigning management IPv6 address.

Current IPv6 Address Configuration
----------------------------------
IPv6 Address: fe80::abd:43ff:fe73:d78/64 00
IPv6 Current state: TENT
Address DHCP Mode: Disabled
Address Autoconfigure Mode: Disabled
EUI64 : Enabled

Routing Mode: Enable

IPv6 address has been assigned manually. What do you want to do?
C - Add IPv6 address.
D - Assign IPv6 address for the switch using DHCP Mode.
A - Assign IPv6 address for the switch using Auto Mode.
N - Skip this option and go to the next question.
Q - Quit.
? - Help.
(C/D/A/N/Q/?)?
```

9. OOB ポート（サービスポート）に IPv4 アドレスを設定します。

```
Current Out of Band(service port) IPv4 Address Configuration
------------------------------
IP Address Assignment Mode: DHCP
IP Address: 169.254.101.100
Subnet Mask: 255.255.255.0
Default Router: 0.0.0.0

IPv4 address will be assigned automatically by the DHCP server in your network.
You
can disable DHCP mode and use static(fixed) IPv4 address. If fixed IPv4 Address
Mode
is selected, DHCP Protocol Mode will be disabled, and you will be prompted to
set the values for the four fields above.
Do you want to assign IPv4 address manually? (Y/N/Q/?)
```

9. OOB ポート（サービスポート）に Ipv6 アドレスを設定します。

```
Current Out of Band(Serviceport) IPv6 Address Configuration
-------------------------------
Service port IPv6 Address Mode: None
IPv6 Administrative Mode: Enabled
Service port IPv6 Address Mode autoconfigure: Disabled
Service port IPv6 address gateway:
EUI Flag: False

IPv6 address has been assigned manually. What do you want to do?
A - Assign IPv6 address for the switch using Auto Mode.
D - Assign IPv6 address for the switch using DHCP Mode.
G - Assign IPv6 Gateway.
C - Add IPv6 address.
N - Skip this option and go to the next question.
Q - Quit.
? - Help.
(A/D/G/C/N/Q/?)?
```

10. 管理インターフェースを設定します。

```
Current Management Interface Configuration
------------------------------
Management Interface: L3 Management VLAN
Current management interface is L3 Management VLAN. What do you want to do?
O - Change to Out of Band port(service port).
V - Change to L3 Management VLAN.
N - Skip this option and go to the next question.
Q - Quit.
? - Help.
(O/V/N/Q/?)?
```

11. スイッチ名と場所の情報を入力します。

```
Assigning System Name, System Location and System Contact to your switch management

Current Configuration
------------------------------
System Name:


System Location:


System Contact:



Do you want to assign switch name and location information? (Y/N/Q)
```

12. SNTP サーバー設定をします。

```
Assigning SNTP server for time stamp to your switch management

Current Configuration
------------------------------
SNTP system clock server: unicast
SNTP server: 133.243.238.244

Do you want to enable SNTP system clock server? (Y/N/Q)
```

13. Y を選択して設定を保存します。

```
Do you want to apply and save the changes (Y/N)?y


Config file 'startup-config' created successfully .

The configuration changes have been applied and saved.
Please enter 'show running-config' to see the final configuration.

Thanks for using EzConfig!

(M4200-10MG-PoE+) >
```

スイッチは Web、Telnet や SSH で管理可能になりました。

コンソールポートと CLI を使って IP アドレスを設定する

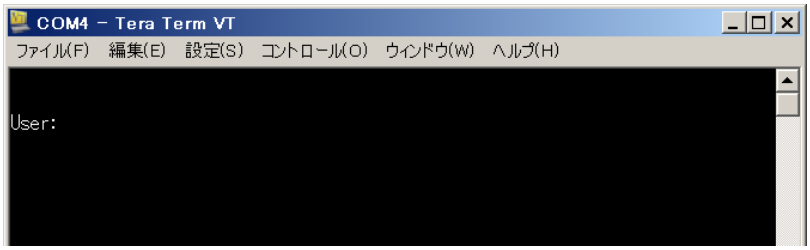
コンソールポートを介して CLI を使い、スイッチの IP アドレスをマニュアルで設定することができます。スイッチは mini USB コンソールポートと RJ-45 RS232 コンソールポートを提供します。

➢ コンソールポートと CLI を介してスイッチの IP アドレスを設定する

1. ターミナルエミュレーションプログラムをインストールしたコンピューターあるいは VT100/ANSI ターミナルを接続して COM ポートを開きます。

詳細についてはコンソールポートを使うためにターミナルを準備するを参照。

ユーザーログインプロンプトが表示されます。



2. ユーザー名とパスワードを入力します。
   デフォルトユーザー名は admin, パスワードは空白（何も入力しない）です。

```
User:admin
Password:
(M4200-10MG-PoE+) >en

(M4200-10MG-PoE+) #
```

3. 以下のコマンドでデフォルト VLAN 1 のスイッチの管理インターフェースの IP アドレスを設定します。

   (management switch) (config) #ip management vlan 1 ipaddress subnetmask

4. 以下のコマンドでスイッチのゲートウェイの IP アドレスを設定します。

   (management switch) (config) #ip default-gateway gateway-addr

5. 以下のコマンドでスイッチの OOB ポート（サービスポート）の DHCP モードを無効にします。

   (management switch) #serviceport protocol none

6. 以下のコマンドでスイッチの OOB ポート（サービスポート）の IP アドレスを設定します。

   (management switch) #serviceport ip ipaddress subnetmask [gateway]

7. **Save** コマンドを入力し、**y**で変更を確認して設定を保存します。

```
(M4200-10MG-PoE+) #save

This operation may take a few minutes.
Management interfaces will not be available during this time.
Are you sure you want to save? (y/n) y

Config file 'startup-config' created successfully .


Configuration Saved!

(M4200-10MG-PoE+) #
```

8. IP アドレス情報の変更を表示して確認するには、以下のコマンドを入力します。
   - 管理インターフェースでは
     (management switch) #show ip management
   - サービスポートでは
     (management switch) #show serviceport

スイッチは Web、Telnet や SSH で管理可能になりました。

```
(M4200-10MG-PoE+) #show ip management

IPv4 Interface Status........................ Up
IPv4 Management Interface.................... vlan 1
IP Address................................... 192.168.1.100
Subnet Mask.................................. 255.255.255.0
Method....................................... Manual
Routing Mode................................. Enable
Default Gateway.............................. 192.168.1.1

Source Interface............................. vlan 1
Burned In MAC Address........................ 08:BD:43:73:0D:75
Locally Administered MAC address............. 00:00:00:00:00:00
MAC Address Type............................. Burned In

IPv6 Management Interface is not Configured.


(M4200-10MG-PoE+) #
```

```
(M4200-10MG-PoE+) #show serviceport

Interface Status............................. Down
IP Address................................... 169.254.101.100
Subnet Mask.................................. 255.255.255.0
Default Gateway.............................. 0.0.0.0
IPv6 Administrative Mode..................... Enabled
Configured IPv4 Protocol..................... DHCP
Configured IPv6 Protocol..................... None
IPv6 AutoConfig Mode......................... Disabled
Burned In MAC Address........................ 08:BD:43:73:0D:76

(M4200-10MG-PoE+) #
```

DHCP サーバーが割り当てた IP アドレス設定を発見する

ネットワークに DHCP サーバーが存在するならば、DHCP サーバーは自動的にスイッチの IP アドレス設定を割り当てます。デフォルトでスイッチは DHCP クライアントとして動作し、管理インターフェースと OOB ポート（サービスポート）に DHCP サーバーから IP アドレスを割り当てることができます。スイッチをネットワークに接続すると DCHP サーバーは IP アドレス、サブネットその他の情報をスイッチに設定します。

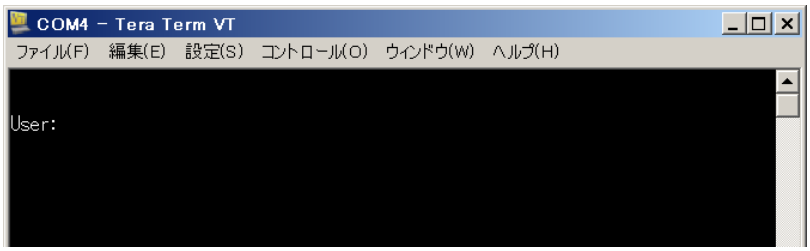
例えば IP アドレスと MAC アドレスバインディング情報のように DHCP サーバーからスイッチに特定の IP アドレスを割り当てたい時、DHCP サーバーにスイッチの IP アドレスと MAC アドレス情報を設定する必要があります。DHCP サーバーを設定した後にスイッチをネットワークに接続すると DCHP サーバーは設定した IP アドレス、サブネットその他の情報をスイッチに設定します。

➢ **DHCP サーバーによって割り当てられた IP アドレスを発見する**

1. ターミナルエミュレーションプログラムをインストールしたコンピューターあるいは VT100/ANSI ターミナルを接続して COM ポートを開きます。

   詳細についてはコンソールポートを使うためにターミナルを準備するを参照。

ユーザーログインプロンプトが表示されます。



2. ユーザー名とパスワードを入力します。
   デフォルトユーザー名は admin, パスワードは空白（何も入力しない）です。

```
User:admin
Password:
(M4200-10MG-PoE+) >en

(M4200-10MG-PoE+) #
```

3. IP アドレスを確認するには以下のコマンドを入力します。
   - 管理インターフェースでは
     (management switch) #show ip management

```
(M4200-10MG-PoE+) #show ip management

IPv4 Interface Status........................... Up
IPv4 Management Interface....................... vlan 1
IP Address...................................... 192.168.1.100
Subnet Mask..................................... 255.255.255.0
Method.......................................... Manual
Routing Mode.................................... Enable
Default Gateway................................. 192.168.1.1

Source Interface................................ vlan 1
Burned In MAC Address........................... 08:BD:43:73:0D:75
Locally Administered MAC address................ 00:00:00:00:00:00
MAC Address Type................................ Burned In
```

   - サービスポートでは

     (management switch) #show serviceport

```
(M4200-10MG-PoE+) #show serviceport

Interface Status................................ Down
IP Address...................................... 169.254.101.100
Subnet Mask..................................... 255.255.255.0
Default Gateway................................. 0.0.0.0
IPv6 Administrative Mode........................ Enabled
Configured IPv4 Protocol........................ DHCP
Configured IPv6 Protocol........................ None
IPv6 AutoConfig Mode............................ Disabled
Burned In MAC Address........................... 08:BD:43:73:0D:76
```

4. 管理インターフェースの IP アドレスまたは OOB ポート（サービスポート）の IP アヅレスを使ってスイッチの Web 管理インターフェースにログインします。

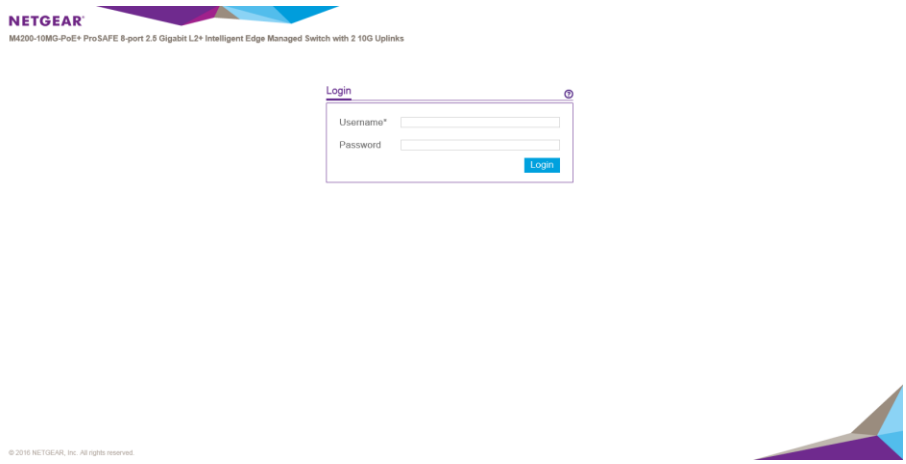
IP アドレスを知っている時に Web 管理インターフェースにアクセスする

この手順はスイッチの IP アドレスを既に知っている時に Web 管理インターフェースにアクセスする方法について記します。

イーサネットネットワークポートに接続して管理インターフェースの IP アドレスまたは OOB ポート（サービスポート）に接続して OOP ポートの IP アドレスを使います。

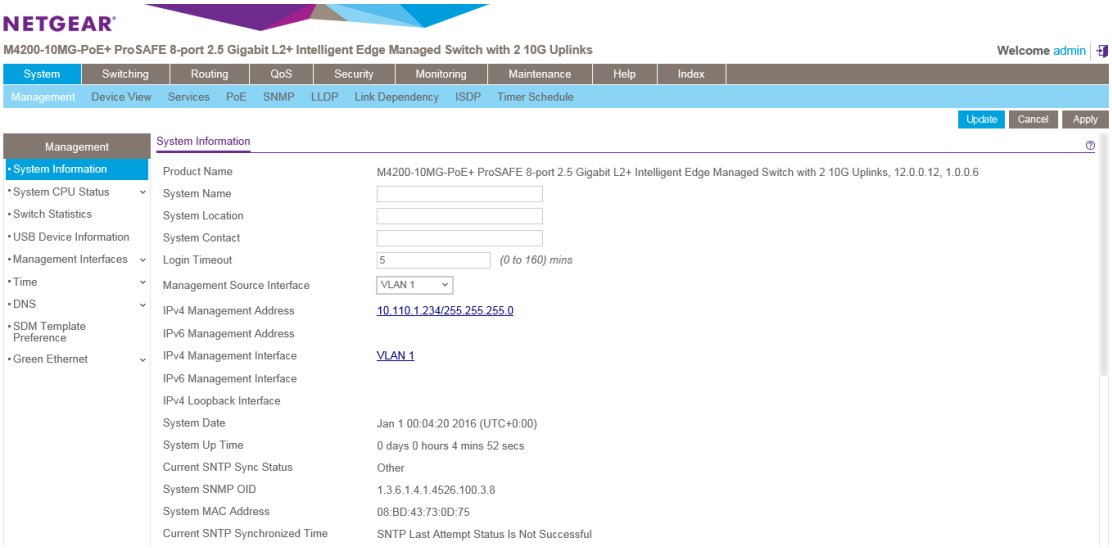
➢ **Web 管理インターフェースにアクセスする**

1. コンピューターのイーサネットポートとスイッチのイーサネットネットワークポートあるいはスイッチの OOB ポート（サービスポート）をイーサネットケーブルで接続します。
2. Web ブラウザを起動します。
3. 管理インターフェースの IP アドレスあるいは OOB ポートの IP アドレスをブラウザのアドレスバーに入力します。
   ログイン画面が表示されます。



4. ユーザー名とパスワードを入力します。
   デフォルトユーザー名は admin, パスワードはブランク（なにも入力しない）です。

5. **Login** ボタンをクリックします。
   Web 管理インターフェースメニューが表示されます。



Web 管理インターフェースを使ってスイッチの設定をすることができます。詳細設定については M4200 and M4300 Series ProSAFE Managed Switches Web Management User Manual を参照してください。